

岩手・花立Ⅱ遺跡

はなだて

- 1 所在地 岩手県西磐井郡平泉町平泉字花立地内
- 2 調査期間 第一次調査 一九九〇年(平二)一〇月
- 3 発掘機関 平泉町教育委員会
- 4 調査担当者 及川 司
- 5 遺跡の種類 寺社跡
- 6 遺跡の年代 一二世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(一 関)

花立Ⅱ遺跡はJR平泉駅の北西約六〇〇mに所在し、周囲には特別史跡無量光院跡や、特別史跡毛越寺跡の飛地である白山社跡、並びに花立廃寺跡がある。遺跡の北部は史跡金鶏山に続く丘陵地、南半部は平坦地となる。遺跡内の花立溜池付近には三十三間堂跡の伝承地がある。

第一次調査は歩道拡幅工事に伴うもので、幅三mから六mと狭い調査区である。

検出遺構には、溝・柱穴・土坑・性格不明遺構などがある。出土したかわらけや陶磁器などから、これらの遺構は一二世紀に属する。木簡は東地区No.四地点の性格不明遺構から出土した。この遺構は、一辺四m以上の方形となる平面形で、深さは約一・六m掘り込まれ、底面は平坦になる。部分的な検出のため、全体の規模・形状は不明である。木簡は埋土最下層の褐灰色シルト質土に含まれていた。

8 木簡の釈文・内容

(1)



(123)×(40)×5 081

判読はできないが、複数行にわたって書かれている可能性もある。また、絵の可能性のある部分もある。釈読にあたっては、奈良国立文化財研究所(当時)の館野和己氏・寺崎保広氏のご教示を得た。

9 関係文献

平泉町教育委員会『花立Ⅱ遺跡第一次発掘調査報告書』(一九九一年)

(及川 司)

